

うえむらしやうこう

上村松篁 略歴

明治35年(1902)11月4日、上村松園の長男として京都に生まれる。本名信太郎。京都市立美術工芸学校、京都市立絵画専門学校と進み、西山翠嶂にも師事した。大正10年、19歳で帝展に初入選し、昭和8年には帝展推薦無鑑査に任命されるなど、早くから頭角を現し活躍する。しかし、終戦後、日展の審査に携わり情実の横行した内情を目の当たりにしたことから日展を離脱、京都の奥村厚一や秋野不矩、東京の山本丘人や福田豊四郎など若手の日本画家12名と共に、昭和23年「世界性に立脚する日本絵画の創造」を目指す在野の日本画団体「創造美術」を結成した。以後、その中心的存在として活躍。京都画壇の伝統的画風を踏まえながらも現代的な感覚を取り入れた色彩豊かな表現は花鳥画の新たな画境を開拓した。昭和43年1月から翌年2月にかけて「サンデー毎日」連載井上靖著『額田女王』の挿絵を描く。昭和59年には母松園に次いで親子二代の文化勲章受章を果たす。その後も明るく優美な筆致で格調高い世界を追求し続け、平成13年(2001)98歳でその生涯を閉じた。

あきのふく

秋野不矩 略歴

明治41年(1908)、静岡県磐田郡二俣町(現浜松市天竜区二俣町)に生まれ、19歳で石井林響、次いで西山翠嶂に師事した。28歳の時、昭和11年文展鑑査展で選奨を受賞するなど、早くから官展で実績を積み重ね、画家としての地歩を固めた。戦後間もなく、新しい日本画の創造を目指して「創造美術」の結成に参加すると、官展時代の作風から脱却し、西洋絵画の特質を取り入れるなどして、人物画に新境地を開いた。昭和26年に第1回上村松園賞を受賞した。昭和37年、54歳の時、大学の客員教授としてインドに滞在して以来、インドに魅せられ、度々訪れては、風景や人々、寺院などをモチーフに作品を描いた。また、アフガニスタン、ネパール、カンボジア、アフリカにも旅行して創作のアイデアを求め、平成13年(2001)93歳で亡くなるまで絵筆を取り続けた。平成11年にはこれまでの業績が認められ、文化勲章を受章した。



浜松市
秋野不矩
AKI NO FUKU MUSEUM
美術館

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣130
TEL:053-922-0315 FAX:053-922-0316



万葉の世界

額田女王 挿絵原画展

2/10 (sat) 2024
→ 3/24 (sun)

"The world of Manyo"
The Exhibition of Princess Nukata
drawn by Shoko Uemura

特別展

上村松篁 が描く

浜松市秋野不矩美術館

主催: 浜松市、公益財団法人 浜松市文化振興財団

共催: 静岡新聞社・静岡放送

協賛: 遠鉄グループ、天竜浜名湖鉄道株式会社

協力: 公益財団法人 松伯美術館

企画協力: 株式会社アートワン



浜松市
秋野不矩
AKI NO FUKU MUSEUM
美術館



上村松篁『額田女王』1969年 公益財団法人 松伯美術館 蔵



上村松篁

小説『額田女王』挿絵

作品名	制作年	材質・技法	寸法(h×w cm)
第I章 白い雉			
I-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	18.6×30.2
I-1、3、I-5～12	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
I-2	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	14.0×37.5
I-4	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	22.0×16.3
第II章 わだつみ			
II-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	11.7×20.0
II-1～12	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
第III章 有間皇子			
III-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	11.7×20.0
III-1～12	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
第IV章 月明			
IV-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	11.7×20.0
IV-1～20	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
第V章 鬼火			
V-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	11.7×20.0
V-1～26	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
第VI章 水城			
VI-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	11.7×20.0
VI-1～12	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
第VII章 近江の海			
VII-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	12.5×20.8
VII-1～14	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
第VIII章 兵鼓			
VIII-扉絵	昭和44年(1969)	紙本彩色	11.7×20.0
VIII-1～16	昭和43～44年(1968～1969)	紙本墨画淡彩	12.5×41.0
関連作品			
万葉の春(小下絵)	昭和45年(1970)	紙本彩色	46.4×191.3
額田女王	昭和44年(1969)	紙本彩色	21.8×36.0
有間皇子	昭和44年(1969)	紙本彩色	27.5×41.0

資料

万葉関連スケッチ
週刊誌「サンデー毎日」等

特別出品

作品名	制作年	材質・技法	寸法(h×w cm)	出展
丹頂	昭和55年(1980)	紙本彩色	各227.8×157.0	第7回創画展
春輝	昭和59年(1984)	紙本彩色	130.5×194.3	第11回創画展
五色桃	平成9年(1997)	紙本彩色	116.7×80.3	創画会50周年記念春季創画展

以上 公益財団法人 松伯美術館 蔵



上村松篁《額田女王挿絵原画 第三章・6》1968～1969年 公益財団法人 松伯美術館 蔵

秋野不矩

いっすんぼうし

作品名	制作年	材質・技法	寸法(h×w cm)
表紙	昭和40年(1965)	紙本彩色	23.0×46.0
見返し	昭和40年(1965)	紙本彩色	20.6×42.2
扉	昭和40年(1965)	紙本彩色	20.4×42.2
1～17、20	昭和40年(1965)	紙本彩色	20.8×42.2
18	昭和40年(1965)	紙本彩色	20.8×32.0
19	昭和40年(1965)	紙本彩色	20.8×10.2
未使用1	昭和40年(1965)	紙本彩色	21.6×45.4
未使用2	昭和40年(1965)	紙本彩色	23.0×46.0
未使用3	昭和40年(1965)	紙本彩色	22.0×22.0

以上 浜松市秋野不矩美術館 蔵



秋野不矩《いっすんぼうし 表紙》1965年 浜松市秋野不矩美術館 蔵

※作品リストと展示の順番は必ずしも一致しません。

※会場内の温度、湿度、照明は、作品保護のためご来場の皆様にとって理想的と感じられない場合もあるかと存じますが、ご容赦ください。